

郡上市 白鳥町長滝エリア

令和2年度

【地域の概要】

- 郡上市は、岐阜県の中心部に位置する中山間地域で、小規模な農地が多く存在している。その中でも白鳥町は北部に位置し、主要作物は水稻、夏秋トマトなどである。
- 高齢化率が高くなっており、後継者不足の問題がある。また、担い手も不足している。
- 農地の利用状況は、担い手利用が50%（農地利用集積円滑化事業による権利設定と農作業受委託契約による作業委託）、自作が50%の状況である。

取組開始前の状況や課題

- 郡上市白鳥町長滝 大向地区
農作業に向かうには川を渡る必要があり、その川に架かる橋が狭く、大型の農業機械が入れないため、農作業効率が著しく低い状況であった。また、水捌けが良くない地盤であった。
- 郡上市白鳥町長滝 巾の上地区
農業用排水路が常に水漏れを起こしており、農作業に支障をきたす状況であった。
- 上記2地区は、農作業を行うには条件が悪い農地であったため、県営経営体育成基盤整備事業及び県営中山間総合整備事業を活用し、農地整備を行うことになった。

取組内容

- 基盤整備事業には、事業完了年度までに、担い手への集積目標等の要件があるため、基盤整備事業に合わせて、人・農地プランの作成（長滝エリア）、農地中間管理権の設定による集積を推進。
- 長滝エリアで、機構集積協力金を活用するために、積極的に農地中間管理権の設定を推進し、また、農地利用集積円滑化事業による権利設定から農地中間管理権への切り替えを実施。
- 人・農地プランの作成の話し合いの場や、農地中間管理権設定のための説明会については、農業委員・農地利用最適化推進委員が参加し、地域農家の説得に当たった。
- 結果として、令和2年度に、6.1haの中間管理権設定による担い手への集積が完了。地域集積協力金は、1,342千円となった。

今後の展開と方向性

- 農作業受委託契約を結んでいる土地所有者と担い手に対し、農地中間管理権への移行を推進。
- 地域集積協力金を原資として、より担い手が耕作を行いやすい条件を、長滝エリアとして整えていく。
- 人・農地プランを基にして、地域内の将来を考えた話し合いが年に数回開催されるように、農業委員・農地利用最適化推進委員が、コーディネーター役として、地域に入り込む。



←長滝エリア集積状況